

# 大規模公共事業評価再評価調書の概要

(小谷木橋 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型))

担当部：県土整備部 道路建設課

## 1 事業概要 (路線名：一般国道 397 号、所在市町村：奥州市)

○事業目的：一般国道 397 号は、岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由し、秋田県横手市に至る幹線道路であり、産業経済・観光等を支えるとともに、沿線住民の生活に欠くことのできない道路である。

しかし、当該地区に架橋されている小谷木橋は、幅員狭小により大型車のすれ違いが困難であるとともに、老朽化が著しく、平成 23 年の東日本大震災により重大な損傷が生じ、長期間の通行規制を余儀なくされるなど、円滑な交通の支障となっている。

このことから、橋梁の架替及び前後の道路改良によりこれらを解消し、安全で円滑な交通の確保を行うものである。

○事業内容：計画延長 L=1,420m、計画幅員 W=6.5(15.0~16.5) m、橋梁延長 597m

○事業期間：平成 24 年度～令和 6 年度 (前回評価時：令和 6 年度)

○総事業費：12,000 百万円 (前回評価時：8,460 百万円)

令和 3 年度までの投資額：10,136 百万円、進捗率：84.5% (事業費ベース)

## 2 事業の進捗状況等

○令和 3 年 5 月 31 日に新橋が供用開始予定であることから、整備効果が発現される見込み。

○旧橋撤去が必要であることから、令和 2 年 12 月に旧橋撤去 (上部工) 工事を契約している。

## 3 社会経済情勢等の変化

○社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○奥州市、国道 397 号北上川橋梁架替期成同盟会、国道 397 号整備期成同盟会より、当該道路の整備促進について要望がある。

## 4 コスト縮減対策及び代替案

○コスト縮減対策は、旧橋撤去の施工方法変更により、約 11 百万円の縮減を図ることとしている。

○新橋を供用開始しており、今後は旧橋撤去工事を進めるものであり、代替案立案の可能性は無い。

## 5 総合評価

○「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、令和 3 年 5 月に新橋が供用開始予定であり、今後は、河川管理者との協議内容に基づき、旧橋撤去を行うもの。

○残工事は、洪水時の流れの阻害となり、河川氾濫の危険性があるため、旧橋を撤去するもの。

○「社会経済情勢等の変化」については、社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○以上のことから、総合評価を「事業継続」とした。

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)		補助・単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課										
路線名等	一般国道397号	地区名	こやぎばし 小谷木橋		市町村	奥州市									
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕														
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○路線の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般国道397号は、岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由し、秋田県横手市に至る幹線道路であり、産業経済・観光等を支えるとともに、沿線住民の生活に欠くことのできない道路である。</li> <li>「岩手県地域防災計画」において、緊急輸送道路に指定されており、防災面においても重要な役割を担っている。</li> </ul> <p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該地区に架橋されている小谷木橋（S29架橋）は幅員狭小により、大型車のすれ違いが困難となっていることに加え、老朽化が著しく、大雨や地震による重大な損傷が発生し、長期間の通行規制を余儀なくされているなど、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> <p>○整備によって得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁の老朽化の解消及び大型車すれ違い困難箇所の解消や歩行者等の安全性、快適性が向上されることにより安全で円滑な交通機能が確保される。</li> </ul>														
	<p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画延長：L=1,420m、計画幅員：W=6.5(15.0～16.5)、橋梁延長：L=597m</li> </ul>														
	<p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型車すれ違い困難箇所、老朽橋の解消：595m</li> <li>歩行安全性、快適性の向上（歩道設置延長）：1,420m（両側歩道）</li> </ul>														
事業着手	H24年度	事業計画期間	H24	～	R6	再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)	用地着手	H25年度	工事着手	H27年度					
事業費	当初計画 総事業費 (H24年)	再評価時 総事業費 (R3年)A	事業費の状況 [百万円]												
	(うち用地費)	(うち用地費)	H24年～ R1年	R2年	R3年	投資事業費	財源		進捗率						
	B	C	D	E=B+C+D	F=E/A		国庫	6,511.8	84.5%						
8,460.0	12,000.0	7,898.8	1,636.8	600.0	10,135.6	県	3,598.8								
(1,204.0)	(1,008.3)	(959.3)	(30.2)	(2.0)	(991.5)	他	25.0								
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況														
	ア 整備効果の発現状況														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年5月31日の供用開始により、大型車すれ違い困難箇所が解消され、歩行者の安全性、快適性が向上する見込み。</li> </ul>														
	イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し														
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の進捗は順調であり、計画どおり確実な竣工が見込まれる。</li> </ul> <p>○中項目評価は、事業完了年度は変更不要であり、今後は計画に基づき事業進捗が見込めていることから「a」とした。</p> <p style="text-align: center;">中項目評価 (a) , b , c</p>															
(2) 事業計画の変更の有無及び内容															
総事業費 8,460百万円 → 12,000百万円															
<p>① 河川管理者との協議により、旧橋の下部工を最深河床高より2m深い位置まで撤去することとなり、撤去範囲に追加が生じたことによる増額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>増額理由</td> <td>3,540百万円</td> </tr> <tr> <td>①旧橋撤去による増額</td> <td>1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>②社会的要因による増額</td> <td>2,040百万円</td> </tr> </table>										増額理由	3,540百万円	①旧橋撤去による増額	1,500百万円	②社会的要因による増額	2,040百万円
増額理由	3,540百万円														
①旧橋撤去による増額	1,500百万円														
②社会的要因による増額	2,040百万円														
② 労務費・資材単価等の上昇による増額															
○金額は増額となるものの、事業内容に大幅な変更は無いため、中項目評価を「b」とした。															
中項目評価 a , (b) , c															
○中項目評価が「a」、「b」であることから、大項目評価を「A」とした。															
評価 AA , (A) , BB , B , C															

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・「被災地の復旧・復興、防災・減災対策」、「社会資本の老朽化への対応」、「国民生活の安全・安心の確保」、「生産性を向上させる社会資本整備」、「魅力ある地域づくり」等、広域な分野にわたって重要な政策を展開している。
- ・近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、集中的に取り組んでいくこととしている。

イ 本県内の状況

- ・「いわて県民計画(2019~2028)」においては、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を重点的な政策の柱として掲げており、この中で道路整備は、地域産業の競争力の向上を目指し、工業製品や農林水産物等の物流の円滑化を図る幹線道路ネットワークを構築することや、地域間の交流・連携の基盤となる広域振興圏相互や隣接県を結ぶ道路の整備を推進するとともに、通勤・通学などの日常生活を支える道作りを進めることとしている。

ウ 施工地域における状況

- ・奥州市、国道397号北上川橋梁架替期成同盟会、国道397号整備促進期成同盟会より、当該道路の整備促進について要望がある。

○ 中項目評価は、本県内および施工地域において議論や見直しの検討は無いことから「a」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点(A) H24	今回再評価時 評点(B) R3	増減 (B)-(A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況5.5m)	5 (現況5.5)	0	現況最小幅員5.5m <規定値-2m(7.5m)
	曲線半径	5	5 (現況41m)	5 (現況41m)	0	現況最小曲線半径41m <-10km/h縮小値(80m)
	縦断勾配	5	0 (現況3.4%)	0 (現況3.4%)	0	現況最急縦断勾配3.4% <規定値(5%)
	歩道設置の必要性	3	3 (必要)	3 (必要)	0	前後区間連続性確保の必要性
	混雑度	2	2 (1.26)	2 (1.26)	0	
	定時性	2	0 (0.5km/h)	0 (0.5km/h)	0	速度差0.5km/h <5.0km/h
	事故率	3	1 (34.8件/億台キロ)	1 (34.8件/億台キロ)	0	事故率34.8件/億台キロ
	過疎地域等の振興	5	0 (該当無)	0 (該当無)	0	
	計	30	16	16	0	
重要性	ネットワークの位置付け	15	12 (緊急かつ地域形成道路)	12 (広域振興圏間連絡道路)	0	
	産業振興、生活支援	15	15 (5項目)	15 (5項目)	0	※
	計	30	27	27	0	
緊急性	関連事業の有無	5	5 (有)	5 (有)	0	水沢東BP(R2.3.21部分開通)
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、 交通不能区間、通行危険箇所等	5	5 (老朽橋)	5 (老朽橋)	0	老朽橋 (小谷木橋)
	部分供用の有無				0	
	10km以内に迂回道路	5	0 (有)	0 (有)	0	
	計	15	10	10	0	
効率性	費用便益費(B/C)	20	18 (B/C=2.7)	15 (B/C=1.2)	-3	
	計	20	18	15	-3	
熟度	用地取得の進捗状況	3	2 (50%)	3 (100%)	1	用地取得率：100%
	地元要望	2	2 (有)	2 (有)	0	
	計	5	4	5	1	
計	100	75	73	-2	(今回再評価/前回事前評価) 97%	

※ : 物流支援、観光支援、公共施設アクセス、交通拠点アクセス、通園通学路の安全性向上

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
変  
化

○費用便益分析（全線供用による便益計算）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

（単位：百万円）

区分		事業着手時 (基準年：H24)	再評価時 (基準年：R3)
費用項目	改築費	6,068.0	12,281.5
	維持費	51.0	78.4
	総費用 (C)	6,119.0	12,359.9
便益項目	時間短縮便益	10,529.0	8,232.5
	走行経費減少便益	1,616.0	863.6
	事故減少便益	331.0	40.6
	3便益 ①	12,476.0	9,136.7
	環境改善便益	17.0	58.1
	拡張便益	4,291.0	6,218.2
	その他便益 ②	4,308.0	6,276.3
	小計 ①+②	16,784.0	15,413.0
	修正便益 ③	8,358.0	9,384.6
	総便益 (B) ①+②+③	25,142.0	24,797.6
費用便益比 B (①+②) / C		2.7	1.2
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) / C		4.1	2.0
将来交通量		8,100台/日 (H32)	7,562台/日 (R12)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

- ・参考として、地域補正係数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。
- ・基準改定により総便益の考え方を変更。

事業着手時	(3便益+その他便益+修正便益)
再評価時	(3便益+その他便益)

○関連する開発プロジェクト等の状況

・特になし。

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が事業着手前の90%以上であることから、「a」とした。

中項目評価 (a), b, c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形、地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境等保全指針による保全区分 A, E
- ・希少野生動植物生息の有無 あり
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり
- ・その他：一般国道397号新小谷木橋（仮称）景観検討委員会の設立（H23.1月）  
詳細デザイン検討委員会の設立（H24.8月）  
一般国道397号（仮称）新小谷木橋詳細デザイン検討委員会の設立（H28.12月）

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・事業実施にあたり、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等はない。
  - ・埋蔵文化財包蔵地について発掘調査を行っている。
- 《環境等への配慮に要する経費》
- ・再生アスファルト合材や再生砕石を使用 40,000 千円
  - ・道路環境調査の実施 3,000 千円
  - ・切土・盛土の植生緑化 2,000 千円

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って、積極的な対応をしていることから、「a」とした。

中項目評価 (a), b, c

○中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「A」とした。

評価 (AA), A, B, C

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
変  
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

- (1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性  
 ・旧橋(上部工)撤去の一部について、クレーンステージの構造変更による削減額 11,000 千円
- (2) 代替案立案の可能性  
 代替案として考えられる他の事業手法  
 事業区間のルートは、下記理由により代替案立案の可能性は無い。  
 ・都市計画決定済みのルートであること。  
 ・橋梁を含め、全区間の用地買収が完了していること。  
 ・令和3年5月31日に新橋が供用開始予定であり、今後は旧橋撤去工事を行うものであること。

(1) 総合評価



(事業名) 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型) 小谷木橋

着手年度	完了予定年度	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
				進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H24	R6	10,136	84.5%	A	a	b	AA	a	a	a	73	1.2

(修正B/C=2)

○総合評価に係るコメント

【再評価の総括】

- ・「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、令和3年5月に新橋が供用開始予定であり、今後は、河川管理者との協議内容に基づき、旧橋撤去を行うものである。
- ・残工事は、洪水時の流れの阻害となり、河川氾濫の危険性があるため、旧橋を撤去するものである。
- ・「社会経済情勢等の変化」については、社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。
- ・以上のことから「事業継続」としたものである。

総合評価

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

令和3年5月25日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	一般国道397号	地区名	小谷木橋	市町村 奥州市

1 現在までの事業の経緯等

昭和63年度 8月の集中豪雨により橋脚が損傷  
 平成23年度 東日本大震災の余震により、4/16～8/10まで全面通行止め  
 平成24年度 大規模事業評価専門委員会より「事業実施妥当」との答申  
 社会資本整備総合交付金(復興枠)により新規事業化

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

・当該工区については、奥州市、国道397号北上川橋梁架替期成同盟会、国道397号整備期成同盟会より当該道路の整備促進について要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととする。

(近年の要望対応状況)

○ 国道397号整備促進期成同盟会 (R2. 7月)

3 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル (H30. 2月)、道路投資の評価に関する指針 (案) 第1編 (H10. 6月)、第2編 (H11. 11月)

(単位：百万円)

		事業着手時 H24	今回再評価時		
			R3	残事業B/C	
費用項目	改築費	6,068.0	12,281.5	1,568.5	
	維持費	51.0	78.4	78.4	
	総費用 (C)	6,119.0	12,359.9	1,646.9	
便益項目	3 便益 ①	時間短縮便益	10,529.0	8,232.5	0.0
		走行経費減少便益	1,616.0	863.6	0.0
		事故減少便益	331.0	40.6	0.0
	その他便益 ②	環境改善便益	17.0	58.1	0.0
		拡張便益	4,291.0	6,218.2	0.0
	小計 (①+②)	16,784.0	15,413.0	0.0 ※	
	修正便益 ③	8,358.0	9,384.6	0.0	
	総便益 ①+②+③	25,142.0	24,797.6	0.0	
費用便益比 (B/C)	B(①+②)/C	2.7	1.2	0.0	
(参考)修正費用便益比	B(①+②+③)/C	4.1	2.0	0.0	
将来交通量		8,100台/日 (H32)	7,562台/日 (R12)	7,562台/日 (R12)	

※残工事は旧橋撤去のみであるため、便益は無い。

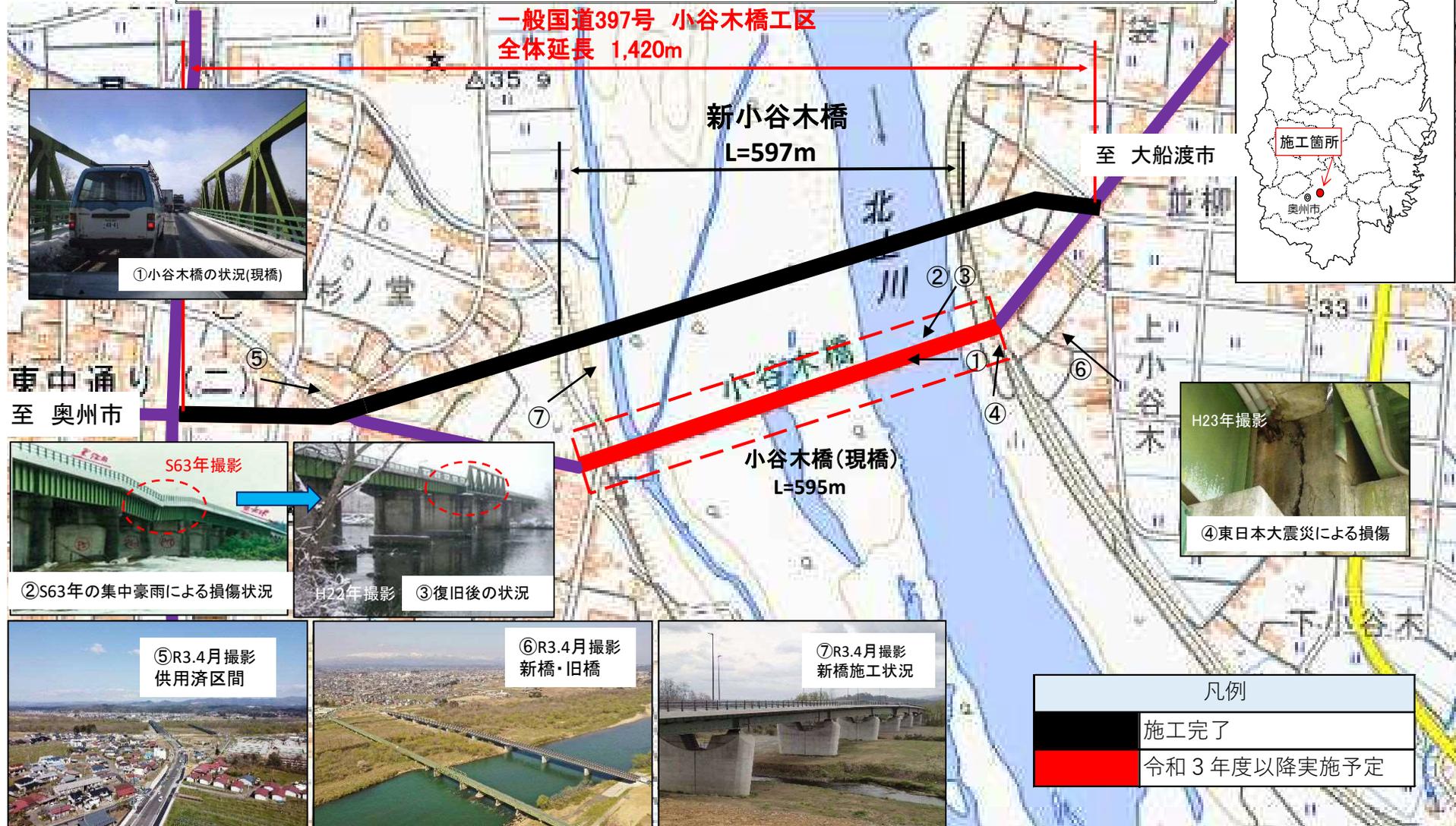
以下の項目については、いずれも基準年 (R12) において現在価値化し便益を算出している。

- ① 改築費 : 道路建設に要する費用
- ② 維持費 : 供用開始後50年間における維持管理費
- ③ 時間短縮便益 : 供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益
- ④ 走行経費減少便益 : 供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果
- ⑤ 事故減少便益 : 供用開始後50年間において、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果
- ⑥ 環境改善便益 : 供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果
- ⑦ 拡張便益 : 供用開始後50年間において、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果
- ⑧ 修正便益 : 東京を基準 (1.0) とし、所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮したもの

4 環境対策の具体的内容

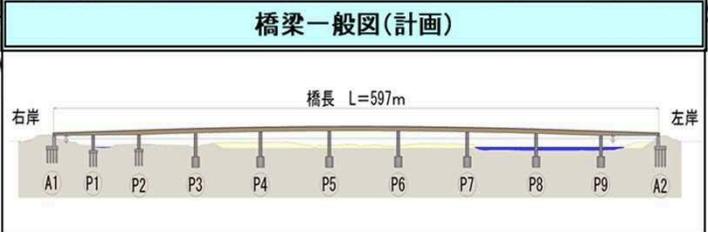
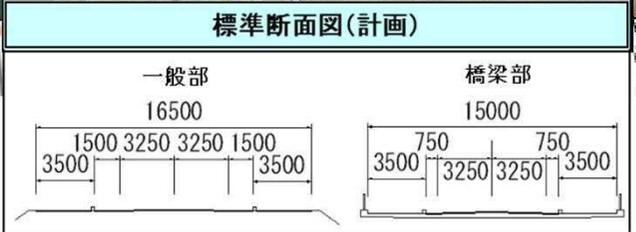
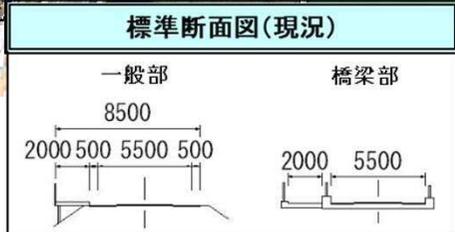
事業実施にあたり、広域局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等は無い。

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 一般国道397号 小谷木橋 実施状況図



凡例

	施工完了
	令和3年度以降実施予定



費用対効果計算書

48

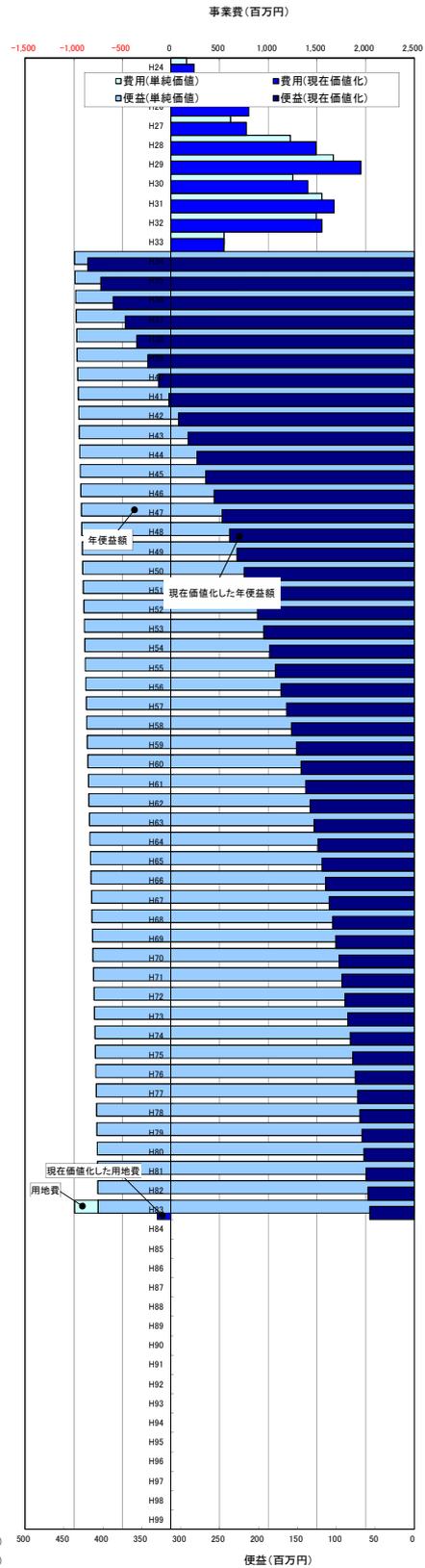
路線名: 397号		地区名: 小谷木橋				単位: 百万円				
の順 年次 別	年次	現在価値 割引率	GDP デフレ率	費用				便益		
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
				費用	現在価値	費用	現在価値			
-10	H24	1.42331	99.0	161	237.9	0	0.0	0.0	0.0	
-9	H25	1.36857	99.0	298	423.5	0	0.0	0.0	0.0	
-8	H26	1.31593	101.5	599	798.3	0	0.0	0.0	0.0	
-7	H27	1.26532	103.0	612	772.9	0	0.0	0.0	0.0	
-6	H28	1.21665	102.8	1,225	1,490.4	0	0.0	0.0	0.0	
-5	H29	1.16986	102.8	1,667	1,950.2	0	0.0	0.0	0.0	
-4	H30	1.12486	102.8	1,250	1,406.1	0	0.0	0.0	0.0	
-3	H31	1.08160	102.8	1,550	1,676.5	0	0.0	0.0	0.0	
-2	H32	1.04000	102.8	1,491	1,550.6	0	0.0	0.0	0.0	
-1	H33	1.00000	102.8	546	546.0	0	0.0	0.0	0.0	
0	H34	0.96154	102.8	485	466.3	3,649.4	3.5	436.2	419.4	
1	H35	0.92456	102.8	744	687.9	3,649.4	3.4	435.6	402.7	
2	H36	0.88900	102.8	466	414.3	3,649.4	3.2	434.9	386.6	
3	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,649.4	3.1	434.3	371.2	
4	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,649.4	3.0	433.6	356.4	
5	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,649.4	2.9	433.0	342.2	
6	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,649.4	2.8	432.3	328.5	
7	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,649.4	2.7	431.7	315.4	
8	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,649.4	2.6	431.0	302.8	
9	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,649.4	2.5	430.3	290.7	
10	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,649.4	2.4	429.7	279.1	
11	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,649.4	2.3	429.0	268.0	
12	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,649.4	2.2	428.4	257.3	
13	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,649.4	2.1	427.7	247.0	
14	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,649.4	2.0	427.1	237.2	
15	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,649.4	1.9	426.4	227.7	
16	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,649.4	1.9	425.8	218.6	
17	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,649.4	1.8	425.1	209.8	
18	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,649.4	1.7	424.5	201.5	
19	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,649.4	1.7	423.8	193.4	
20	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,649.4	1.6	423.2	185.7	
21	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,649.4	1.5	422.5	178.3	
22	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,649.4	1.5	421.9	171.2	
23	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,649.4	1.4	421.2	164.3	
24	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,649.4	1.4	420.6	157.8	
25	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,649.4	1.3	419.9	151.5	
26	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,649.4	1.3	419.3	145.4	
27	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,649.4	1.2	418.6	139.6	
28	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,649.4	1.2	418.0	134.0	
29	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,649.4	1.1	417.3	128.7	
30	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,649.4	1.1	416.6	123.5	
31	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	416.0	118.6	
32	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	415.3	113.8	
33	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	414.6	109.3	
34	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	414.0	104.9	
35	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	413.3	100.7	
36	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	412.7	96.7	
37	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	412.0	92.8	
38	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	411.4	89.1	
39	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	410.8	85.6	
40	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	410.2	82.2	
41	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	409.7	78.9	
42	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	409.1	75.8	
43	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	408.6	72.7	
44	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	408.1	69.9	
45	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	407.7	67.1	
46	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	407.2	64.5	
47	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	406.8	61.9	
48	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,649.4	0.5	406.5	59.5	
49	H83	0.14071	102.8	-992	-139.5	3,649.4	0.5	406.2	57.2	
50	H84	0.13530	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
51	H85	0.13010	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
52	H86	0.12509	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
53	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
54	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
55	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
56	H90	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
57	H91	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
58	H92	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
59	H93	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
60	H94	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
61	H95	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
62	H96	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
63	H97	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
64	H98	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
65	H99	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
				10,102	12,281	182	79	21,020	9,137	①
								拡張便益	6,276	②
								総便益	15,413	①+②

(参考) 修正便益 9,385 ③

総便益B(①+②) 15,413 百万円  
 総事業費C 12,360 百万円

B/C= 1.2

(参考) 修正費用便益比  
 修正B/C=(①+②+③)/C= 2.0

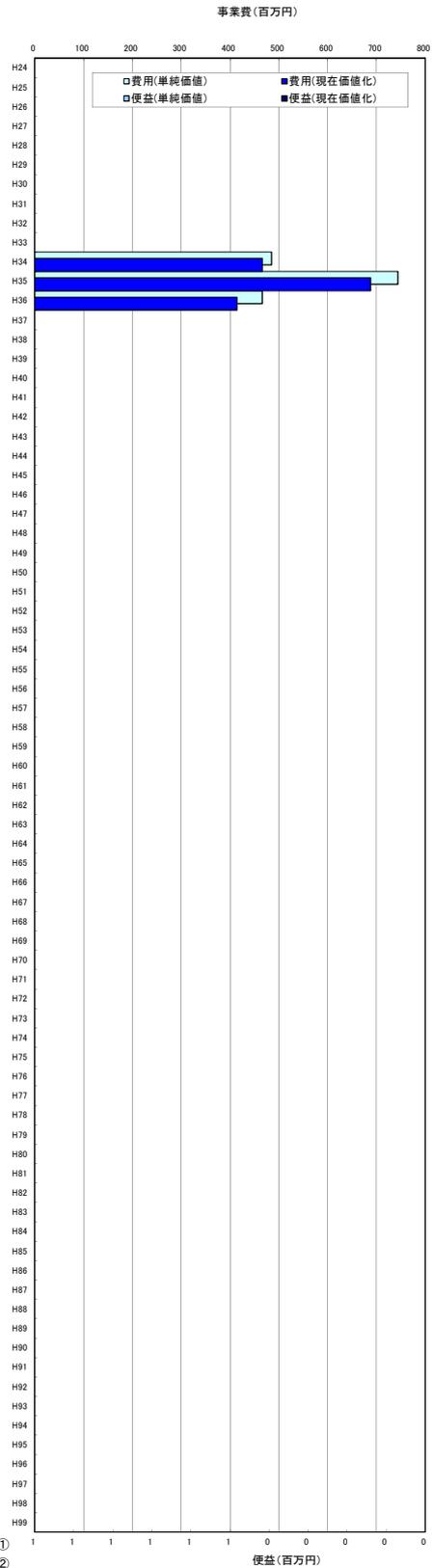


# 残事業費B/C

## 費用対効果計算書

48

路線名: 397号		地区名: 小谷木橋				単位: 百万円			
の 順 年 次 の 順	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益	
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値
				費用	現在価値	費用	現在価値		
-10	H24	1.42331	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-9	H25	1.36857	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-8	H26	1.31593	101.5	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-7	H27	1.26532	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H28	1.21665	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-5	H29	1.16986	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-4	H30	1.12486	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H31	1.08160	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-2	H32	1.04000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-1	H33	1.00000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
0	H34	0.96154	102.8	485	466.3	3,649.4	3.5	0.0	0.0
1	H35	0.92456	102.8	744	687.9	3,649.4	3.4	0.0	0.0
2	H36	0.88900	102.8	466	414.3	3,649.4	3.2	0.0	0.0
3	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,649.4	3.1	0.0	0.0
4	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,649.4	3.0	0.0	0.0
5	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,649.4	2.9	0.0	0.0
6	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,649.4	2.8	0.0	0.0
7	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,649.4	2.7	0.0	0.0
8	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,649.4	2.6	0.0	0.0
9	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,649.4	2.5	0.0	0.0
10	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,649.4	2.4	0.0	0.0
11	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,649.4	2.3	0.0	0.0
12	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,649.4	2.2	0.0	0.0
13	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,649.4	2.1	0.0	0.0
14	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,649.4	2.0	0.0	0.0
15	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,649.4	1.9	0.0	0.0
16	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,649.4	1.9	0.0	0.0
17	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,649.4	1.8	0.0	0.0
18	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,649.4	1.7	0.0	0.0
19	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,649.4	1.7	0.0	0.0
20	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,649.4	1.6	0.0	0.0
21	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,649.4	1.5	0.0	0.0
22	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,649.4	1.5	0.0	0.0
23	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,649.4	1.4	0.0	0.0
24	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,649.4	1.4	0.0	0.0
25	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,649.4	1.3	0.0	0.0
26	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,649.4	1.3	0.0	0.0
27	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,649.4	1.2	0.0	0.0
28	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,649.4	1.2	0.0	0.0
29	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,649.4	1.1	0.0	0.0
30	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,649.4	1.1	0.0	0.0
31	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	0.0	0.0
32	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	0.0	0.0
33	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,649.4	1.0	0.0	0.0
34	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	0.0	0.0
35	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	0.0	0.0
36	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,649.4	0.9	0.0	0.0
37	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	0.0	0.0
38	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	0.0	0.0
39	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,649.4	0.8	0.0	0.0
40	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	0.0	0.0
41	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	0.0	0.0
42	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,649.4	0.7	0.0	0.0
43	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	0.0	0.0
44	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	0.0	0.0
45	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	0.0	0.0
46	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	0.0	0.0
47	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,649.4	0.6	0.0	0.0
48	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,649.4	0.5	0.0	0.0
49	H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,649.4	0.5	0.0	0.0
50	H84	0.13530	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H85	0.13010	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H86	0.12509	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
53	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
54	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
55	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
56	H90	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
57	H91	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
58	H92	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
59	H93	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
60	H94	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
61	H95	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
62	H96	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
63	H97	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
64	H98	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
65	H99	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				1,695	1,569	182	79	0	0
						拡張便益		0	0
						総便益		0	0
						(参考) 修正便益		0	0



総便益B(①+②) 0 百万円  
 総事業費C 1,647 百万円

B/C= 0.0

(参考) 修正費用便益比  
 修正B/C=(①+②+③)/C= 0.0